

2026 January

Vol.95

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>
 〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



白川郷

■ CONTENTS ■

■令和8年新年のあいさつ	2	■職場紹介 西3病棟	10
■新任医師紹介	3	■ひこばえ通信 Vol.21	11
■第79回国立病院総合医学会in金沢	3	■患者図書室から	12
■防火避難訓練の実施について	5	■栄養士のつぶやき@	13
■「令和7年度 第2回虐待防止研修」を開催して	6	■職員募集について	14
■広島東洋カープ磯村選手・堂林選手とふれあう会	7	■地域医療連携機関のご紹介	15
■脳神経内科紹介	8	■地域医療連携室実績報告	17
■皮膚科紹介	9	■紹介医療機関実績報告	17
■職場紹介 栄養管理室	10	■外来診療担当医表	18

病院理念「患者さんと共に」

■基本方針

- 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
- 地域に密着した良質で安全な医療の提供
- 予防医療への貢献
- 医療の質の向上のための研鑽
- 経営基盤の確立

■「患者の権利」宣言

- 個人の尊厳の権利
- 良質な医療を平等に受ける権利
- 自分の受けている医療について知る権利
- 自分の意見を表明し、自己決定する権利
- 個人のプライバシーが守られる権利

公認キャラクター
「にっしーくん」



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さまにおかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より、当院の医療活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は「トランプ関税騒動」に始まり、「長期化・複雑化したロシアのウクライナ侵攻」、「イスラエルのガザ侵攻」など非常に不安定な社会状況があり、国内でも「高市早苗氏、女性初の総理就任後中国との関係悪化」、「物価高騰」など、現在も続くあらゆる問題が山積しております。

医療面でも、新型コロナ後の医療現場において、当院も含め国内ほぼすべての医療機関が苦しい経営状況に追い込まれております。

その中で私たちは、患者さん一人ひとりに寄り添い、安心して医療を受けていただける環境づくりに努めてまいりました。

新年のあいさつで暗い話ばかりでも何ですので、明るい話題も上げると「ドジャース優勝の大谷・山本・佐々木の活躍」や、「デフリンピックでの日本人選手の活躍」、個人的で申し訳ありませんが「ソフトバンクホークス5年ぶりの日本一」などがありました。(私は広島生まれの広島育ち、中高大と広島市内から出たことのない地元民にも関わらず、南海時代からのホークスファンです。これを読んでおられる方のほぼ全員がカープファンだとは思いますが、寛大な心でお許しください。)

話を元に戻します。

令和8年も、最新の医療技術の導入や、医療従事者の確保・教育・研修を通じて、当院の特徴である「地域に求められる急性期医療と社会に求められる政策医療」の両輪を、より良質かつ安定して提供できますよう、職員一丸となって邁進してまいります。

本年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



新任医師紹介

内科医師 村 田 憲 郁



■専門医等の資格：リードレスペースメーカー植え込み資格、心電図検定1級

■出身地：愛媛県 ■出身高校：愛光高等学校

■出身大学：岡山大学 ■趣 味：車、酒

■自己PR：

令和7年10月から内科レジデントとして赴任いたしました。令和7年9月までは循環器内科を中心に診療しておりましたが、この度は内科全般を診療させていただきます。

地域医療に貢献できるよう邁進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

第79回国立病院総合医学会 in 金沢

令和7年11月7日(金)～11月8日(土)

石川県立音楽堂／ホテル日航金沢／金沢市アートホール/ANAクラウンプラザホテル金沢／もてなしドーム地下広場

内 容	表 題	氏 名
シンポジウム	神経・筋疾患分野での高額な医薬品使用における医療安全的取り組み	形部 文寛
口演	看護師のインタビューを通して内服自己管理評価の視点を明らかにする	瀬先 真穂
口演	内視鏡により摘出した大腸異物の2例	赤川 友基
ポスター	偶発性低体温症に伴うJ波の経時的变化を観察した高齢認知症患者の1例	藤井 勇気
ポスター	一過性脳虚血発作(TIA)発症をきっかけに診断されたJAK2変異陽性本態性血小板血症(ET)の一例	新田 航己
ポスター	尿道内結石陥頓による腎後性腎不全に続発した心機能低下の一例 ～閉塞解除後の心機能回復～	栗栖 智
ポスター	蜂窩織炎で入院治療中に炭酸リチウム中毒を発症した1例	神安 栄
ポスター	敗血症性ショック治療後に心不全を発症したBecker型筋ジストロフィーの一例	爲清 圭右
ポスター	地方病院での形成外科新設の意義を、慢性期医療と急性期医療の関わりを通じて考える	福本絵美菜
ポスター	急性期脳梗塞発症後に診断された寒冷凝集素症候群	西谷 亮祐
ポスター	電子処方箋導入に向けたマスタ整備および課題について	原田 有希
ポスター	地域移行を希望したデュシェンヌ型筋ジストロフィー利用者への支援について	本田 浩司
ポスター	右室流出路血流波形から診断に至った基礎に血小板增多症を有する肺塞栓症の1例	藤原 仁
ポスター	術後肺塞栓症に対する抗凝固療法中にヘパリン起因性血小板減少症と血栓再形成をきたした1例	栗栖 智
ポスター	長期間にわたる自然歴を観察した超重症大動脈弁狭窄症の1例	定者 祭
ポスター	A case of hemophagocytic lymphohistiocytosis (HLH) triggered by primary Epstein-Barr virus (EBV) infection	中嶋 敏司
ポスター	重症心身障がい児(者) 病棟に勤務する看護師の防災意識	井原 真由
ポスター	シーティングにより車椅子乗車時間が改善したデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の一例	若狭 美里
ポスター	軽微な関節症状が先行し、けいれん及び意識障害で発症したリウマチ性髄膜炎の1例	福嶋 直大
ポスター	理学療法部門における算定外業務内容の把握と今後の課題	前迫 克哉
ポスター	児童Aの母と連絡が取れず対応に苦慮した事例報告	木原みひろ
ポスター(座長)	栄養管理 栄養調査2	榎本 佑美

■ 第79回国立病院総合医学会 ベストポスター賞受賞者 ■

役 職：初期臨床研修医 氏 名：神安 栄

演 題：蜂窓織炎で入院治療中に炭酸リチウム中毒を発症した1例

発表の感想・概要：

今回は総合診療科の生田先生・大谷先生・岸梶先生のご指導の下、上記テーマについて発表させていただきました。

学会での発表は去年に続き2度目で、今回は金沢での開催となり、遠い場所への移動は慣れないものでしたが、多くの新鮮な体験をさせていただきました。

学会当日、いざ会場に入ると多くの人々の熱気に溢れしており、その独特な雰囲気にすごく緊張したことを今でも鮮明に覚えています。

しかし、当日までに生田先生や大谷先生をはじめとした先生方の丁寧なご指導のおかげで何とか無事発表を終えることができました。特に総合診療科での予演会をお忙しい中何度もしていただいたことで、自信を持って発表に臨むことができました。

今回のテーマは炭酸リチウムについてでしたが、関わる患者様は何かしらの薬剤を使用していることが多く、幅広い薬剤についての確かな知識が必要であると自分としても再度教訓として学ぶことができました。

この場をもちまして改めてご指導下さった先生方、学会でご自身のことを発表することについてご協力して下さった患者様に心から感謝申し上げます。

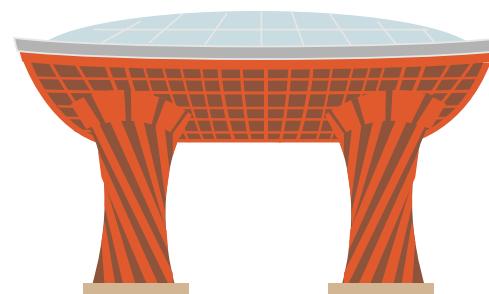


役 職：初期臨床研修医 氏 名：福本 絵美菜

演 題：地方病院での形成外科新設の意義を、慢性期医療と急性期医療の関わりを通じて考える

発表の感想・概要：

今回の学会では、令和3年に当院で新設された形成外科での治療を通じて、慢性期医療と急性期医療の関係性や必要性について考察した発表を行いました。緊張しましたが、無事に発表を終え、ブース内のベストポスター賞を獲得することができました。指導医である形成外科の藤高先生にこの場をお借りして感謝申し上げます。今回の貴重な経験を今後の学会発表に活かしていきたいと思います。





令和7年9月25日 防火避難訓練の実施について

庶務係 隅田 彩祐美



令和7年9月25日
日(木)に防火避難訓練
を実施しました。

防火避難訓練の
実施は、消防法に
より定められており、広島西医療セ
ンターでは、年2回以上実施してい
ます。

今回は、東3病棟休憩室を出火場
所と想定して、通報、初期消火及び
避難誘導の総合訓練を行いました。
通報訓練は、迅速で適切な通報を行



えるようにするための訓練です。次に、初期消火は、消火器や消火栓を用いて、火災の延焼と被害を最小
限にすることを目的とした訓練です。最後に、避難誘導は、初期消火ができなかった場合に、患者さんの
命を守ることを最優先にして、安全に避難するための訓練です。

訓練では、参加者に対して大きな声やジェスチャーで伝える大切さを再確認できました。適切な指示が
あることにより、参加者が混乱することなく、避難誘導ができていました。しかし、火災通報装置の操作
誤りや一部参加者への適切な指示ができていなかったことが、課題となりました。火災通報装置の操作方
法の把握や参加者一人一人が積極的な声出しをできれば、より意義のある訓練になると思います。今後も
職員一同、防火防災の意識を高め、緊急時に備えて訓練に取り組んでまいります。

最後になりますが、本訓練実施にあたりご理解とご協力いただきました関係者の皆様方に、この場をお
借りして御礼申し上げます。



「令和7年度 第2回虐待防止研修」を開催して

療育指導室 主任児童指導員 中 谷 勇 樹



令和7年
12月5日(金)
に令和7年
度第2回虐
待防止研修
を開催しま

した。今回の研修では、以前慢性病棟に入院されていた元利用者（患者）である赤石理人先生を講師としてお呼びし、「10年の入院生活とビジネスの世界で感じた「歩み寄り」について」というテーマで講演していただきました。赤石先生は2歳で脊髄性筋萎縮症と診断され、8歳から大学に進学された18歳までの10年間を当院の慢性病棟の福祉サービスを利用して入院生活を送っていました。退院後は重度訪問介護サービスを利用した一人暮らしを開始され、大学卒業後はライターやWebデザイン、システム開発の営業など積極的に活動されています。今回の講義では、元利用者（患者）として10年間の入院生活で思ったことや感じたこと、退院後社会に出た際に感じたことを率直に話されました。その中で、当事者の立場から虐待防止に必要なこととして『心の余裕』と『歩み寄り』が職員と利用者（患者）双方にとって大切であることを教えていただきました。

現在、病院全体で虐待防止について取り組んでおりますが、今後も継続していく必要があります。今回の虐待防止研修を通じて学んだ『心の余裕』と『歩み寄り』を意識しながら、今後の業務に携わっていきたいと考えています。



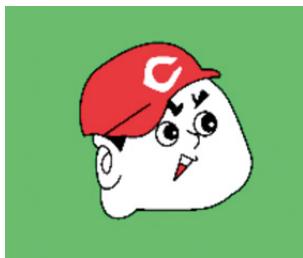
広島東洋カープ磯村選手・堂林選手とふれあう会

療育指導室 主任保育士 河野千晶



12月4日、今年も広島東洋カープの磯村選手が堂林選手と一緒に若葉・あゆみ病棟の利用者さんに会いに来ました！お二人のプロ野球選手を目の前に緊張したり、興奮したりと感情が高ぶり、圧倒的な存在感を肌で感じることができました。

若葉病棟では、利用者さんがディルームへ集合して写真撮影会＆サイン会を実施し、一人ひとりとふれあいました。あゆみ病棟では、居室を訪問してベッドサイドでふれあいました。カープファンの利用者さんが手作りカードをプレゼントしたり、声をかけていただきて「嬉しい！」と涙ぐまれたりと皆さんお二人とのふれあいに大変喜ばれました。繊細な気配りと優しいまなざしで利用者さんに接してくださる温かいお人柄にふれ、利用者さんも職員も、明日からの元気とパワーをお二人からいただきました。こうして大事なご縁を、毎年繋げてくださる磯村選手に感謝の気持ちでいっぱいです！



* イラストは利用者の方の作品です

診療科紹介

脳神経内科紹介

脳神経内科医長 牧野恭子
脳神経内科医長 黒田龍



診断が難しい症例などについては定期的なカンファレンスで情報を共有し、正確な診療を心がけています。

また、当院には神経筋疾患病棟があり、従来は主に筋疾患の患者様の療養を担っていましたが、近年は筋萎縮性側索硬化症や多系統萎縮症などの重度運動障害がある神経難病患者様の入院が増加しています。在宅療養されている神経難病患者様のレスパイト入院や筋ジストロフィー患者様の定期検査入院なども随時受け入れております。

現在、脳神経内科では6名の医師が在籍し、診療にあたっています。当科では認知症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、重症筋無力症、脳血管疾患、髄膜炎、脳炎、てんかん、頭痛、ニューロパチーなど多岐にわたる疾患に対応しており、神経学的所見や問診のほか頭部MRIや各種RI、筋電図、脳波、心理検査、髄液検査などで精査を行います。



脳神経内科では脳・脊髄・筋肉などの疾患を診る科です。頭痛、てんかん、認知症、脳卒中といった有病率の高い疾患から、ALS、パーキンソン病、重症筋無力症、筋ジストロフィーといった難病まで幅広く対応しています。

2024年からはアルツハイマー型認知症（軽度認知障害（MCI）～軽度認知症）に対し保険適応となった抗アミロイドβ抗体薬について、近隣の医療機関と連携しながら適応のある患者さんに対して治療導入を行っています。

●検査体制

- ・MRI、脳波検査
- ・神経伝導検査、筋電図、誘発電位
- ・核医学検査（DATシンチグラフィーなど）
- ・アミロイドPET検査
- ・臨床心理士による心理検査
- ・専門外来の設置
- ・もの忘れ外来
- ・頭痛外来
- ・パーキンソン外来

●患者支援体制

- ・神経難病患者に対するレスパイト入院
 - ・難病医療相談の実施
 - ・療養生活全般を支える
- 包括的な支援体制の相談・提供



診療科紹介

皮膚科紹介



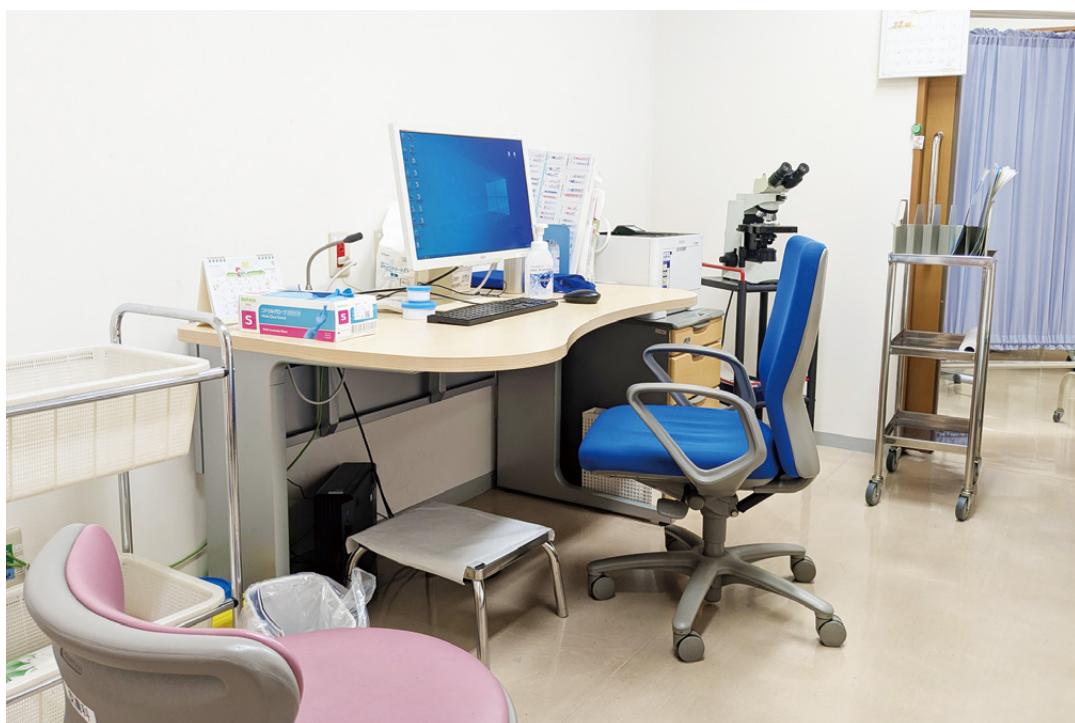
皮膚科では、湿疹や水虫といった日常的な皮膚疾患、アトピー性皮膚炎や蕁麻疹などのアレルギー性皮膚疾患、乾癬、水疱症、感染症、皮膚腫瘍など皮膚疾患全般について幅広く診療しています。

基本的には問診と皮膚所見から診断・治療をおこないますが、必要に応じて、血液検査・画像検査・皮膚生検・パッチテストなどの検査をおこないます。全身疾患と関連して皮膚症状が出現している場合は、他科と連携して診療をしています。

蜂窩織炎や帯状疱疹などの感染症、水疱症や血管炎などでステロイ

ド投与が必要な症例、難治性の皮膚潰瘍などについては、症状の程度に応じて入院加療をおこなう場合もあります。また、既存の治療で改善が乏しい中等症以上の乾癬やアトピー性皮膚炎については、生物学的製剤による加療もおこなっています。

皮膚のことでお困りの際は、お気軽にご相談ください。



皮膚科医師 末岡愛実

職 場 紹 介

●栄養管理室



栄養管理室長 河 内 啓 子

栄養管理室は、管理栄養士5名、調理師5名、調理助手1名、事務助手1名で構成されています。栄養管理室の主な業務は、給食管理（献立作成・食数管理・衛生管理）、臨床栄養管理（栄養管理計画・栄養食事指導・NST等のチーム介入）です。

毎日、患者さんの病状に応じた食事を1日900～1000食提供しています。食事は、入院生活の中で唯一の楽しみでもあるため、毎年実施している食事アンケートの結果を踏まえ、新メニューや選択食の充実を図っています。さらに、患者さんの高齢化に伴い、嚥下機能に応じた形態調整食の見直しを他職種と連携しながら取り組んでいます。昨年12月より慢性病棟で提供していたパン食を個々の嚥下機能に応じた内容へ変更し、安全においしく食べていただくことができるようになりました。

また、食事は、病気の治癒・回復を目的とした治療の一環でもありますので、患者さんが食べていただけて初めて目的を果たすことができます。そのために管理栄養士は、入院から退院までの期間、患者さんの栄養状態を把握し、必要な栄養量、適切な食事内容について提案しています。そして患者さんが食事を楽しみ、お体を維持できる食生活の継続ができるように栄養食事指導も行っています。食事に関しての悩みや不安を解消するためにお気軽にご相談ください。

これからも安全で満足いただける食事提供ができるよう努めて参ります。

栄養管理室の取り組み～慢性病棟パン編～

嚥下分類コード		旧水曜日					旧金曜日					新				
		米飯	軟飯	かゆ	粥 ミキサー	かゆ とろみ			米飯	軟飯	かゆ	粥 ミキサー	かゆ とろみ			
2-1	とろみ						パン粥 (旧)		らくらく 食パン							
2-2	ミキサー															
2-2	ミンチ															
3	きざみ		サンドイッチ													
-	固形															

●西3病棟



西3病棟看護師長 上野 文 靖

西3病棟は、緩和ケアを必要とされる患者さん、パーキンソン病をはじめとする神経難病の方、血液透析治療を継続されている方が入院されている病棟です。多職種が連携し、症状緩和や生活機能の維持、安全・安楽に過ごせる環境づくりを大切にしています。血液透析患者さんには安全な治療継続と体調管理、感染対策に配慮したケアを行っています。今後も、患者さん一人ひとりの思いに寄り添った看護を提供していきます。



ひこばえ通信 Vol.21

「アメフラシからウミウシへ」

統括診療部長 浅野耕助



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

皆さん、1月7日には七草がゆを召し上がられたでしょうか。本来は旧暦の1月7日、新暦の2月の立春の頃の「若菜摘み」で摘んだ、芹(せり)・薺(なづな)・御形(ごぎょう)・繁縷(はこべら)・仏の座(ほとけのざ)・菘(すずな)・蘿蔔(すずしろ)の七草を食べることで、新芽の生命力にあやかって無病長寿を願ったのだそうですが、現代では年末年始のご馳走で疲れた胃腸を癒すための薬膳になってしまいました。

さて、今回の雨にまつわる生き物で思いついたのが「アメフラシ」です。調べてみるとナマコの仲間で、これがどうも見た目がよろしくないのです。綺麗なアメフラシがいいかと検索していくたどり着いたのが「ウミウシ」。雨とは関係ありませんし、午年なのに丑とはいかがなものかと思いましたが、とにかく美麗で愛らしいのでこれを推します。

アメフラシによく似ていますが、ナマコではなく一時期人気があったクリオネと同じ貝殻をなくした貝の仲間だそうです。

多くの種類が数センチメートルほどの大きさで、宝石のような色彩をしていて実に愛らしいですね。海洋生物の研究をなさっていた昭和天皇も、このウミウシを大層お気に召されていたとのことです。

今回はほんの一部ですが、このウミウシの仲間たちの画像をお楽しみください。

ではまた次回をお楽しみに。



アオウミウシ



アオミノウミウシ



ウスイロウミウシ



キロウミウシ



シライトウミウシ



シンデレラウミウシ



レンゲウミウシ



名前不詳



名前不詳



患者図書室から



「三日坊主でも だいじょうぶ」

—(ほんの一部を ご紹介) —



あけましておめでとうございます。

ことわざに「一年の計は元旦にあり」というのがあります。皆さまは新年に何か目標をたてられましたか? 「今年こそダイエット!」、「毎日、ウォーキング」、「お酒はほどほどに」、「今年こそ禁煙」、「毎日、ラジオ体操」、「ゲームは短時間に」、「夜更かしはやめよう」、「バランスの良い食事をしよう」などの目標を立てた方もいらっしゃるのではないかでしょうか。

“目標は立てるけど、毎年、三日坊主になってしまふ”という方も多いのでは?

三日坊主でも大丈夫! やり始めるという気持ちが大切です。

そんな皆さまに、おススメの本をご紹介します。

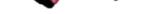


✿ —30kgの減量に成功した医師が教える 医学的に正しいダイエット
(宮田 充樹/現代書林)



✿ メタボ 糖尿病 高血圧を改善! 医者に「歩きなさい」と言われたら読む本
(青山 剛 著・山本 雅人 監修/池田書店)

✿ 健康診断で「運動してますか?」と言われたら最初に読む本
(朽木 誠一郎/KADOKAWA)



✿ マンガでわかる 酒好き医師が教える 最高の飲み方
(浅部 伸一 監修・葉石 かおり 著・星井 博文 マンガ原作 maki 石野 人衣 temoko
松浦 はこ 作画/日経BP社)



✿ 頑張らずにスッパリやめられる禁煙

(川井 治之/サンマーク出版)

✿ 一生動けるカラダをつくる! 最高のラジオ体操
(青山 敏彦/朝日新聞出版)



✿ 働くあなたの快眠地図

(角谷 リョウ/フォレスト出版)



✿ なにをどれだけ食べたらいいの? 第5版

(香川 明夫 監修)



患者図書室

売店

正面玄関

開館時間 10時~15時(土日祝日・年末年始・第2月曜日をのぞく)
※第2月曜日が祝日と重なる場合は、第4月曜日が休館となります。

場所 正面玄関から入って直進 70m先





当院では毎週水曜日から金曜日の3日間、昼食と夕食で選択食を取り入れています。
選択食は普通食を召し上がっているアレルギーや禁止食材のない方を対象に行ってています。(追加料金: 17円/食)

機会があれば是非選んでみてください。



オムライス



サンドイッチ



メンチカツ



ドリア

実際に選択食を選んでいただいた方から、嬉しいご意見もいただいています！



職員募集について

現在当院では、下記職種を募集しております！求人にご興味のある方は、お気軽に下記までお問合せください。

＜求人についてのお問合せ先・応募書類の送付先＞

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号

独立行政法人国立病院機構広島西医療センター 紹介係長

TEL: 0827-57-7151

募集職種

常勤看護師
募集の詳細は
こちら



●常勤看護師 1名程度

※募集要項及び申込方法、待遇等につきましては

QRコードから詳細をご確認ください。

採用日：令和8年4月1日

休日：4週間ごとに8日

基本給：211,000円～（※学歴及び職歴（経験年数）に応じて加算があります。）

【参考】 看護師（専門学校3年卒）で借家（家賃 55,000円）、自動車通勤（片道5km）、夜勤（三交替夜勤月8回）の総支給額

採用1年目…月額 約29～30万円 年額410～420万円

採用5年目…月額 約31～32万円 年額470～480万円

●非常勤職員

医療クラーク 1名

医師の事務補助、診断書や各種文書の作成、対外的電話対応等

時給：1,200円 休日：土日祝、年末年始

※週32時間以内の勤務（月～金の週5日勤務）

看護師 3名

外来及び透析における看護業務

時給：1,630円 休日：土日祝、年末年始

※週32時間以内の勤務、週20時間未満等の短時間の勤務についても相談可

病棟ナースアシスタント 2名

病棟におけるナースアシスタント業務（食事介助、環境整備等）

時給：1,230円 休日：勤務表による（4週8休 他）

※週31時間の勤務、ご希望の勤務時間も相談可

非常勤職員
募集の詳細は
こちら



地域医療連携機関のご紹介

山下ケアクリニック

【診療科目】 内科

【医師名】 山下 久幾

【住所】 〒739-0611 大竹市新町1丁目2-7-101 TEL 0827-54-0852 FAX 0827-54-0850

【診療表】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	/
16:00 ~ 18:00	○	○	○	○	○	/

※13:00 ~ 16:00 在宅訪問診療 ※土・日曜日、祝日は休診

【診療内容・特徴等】

○医院の特徴

内科のプライマリ・ケアを行っています。日本プライマリ・ケア連合学会の目指すプライマリ・ケアの5つの理念（近接性・包括性・協調性・継続性・責任性）に沿った診療を心掛けています。慢性疾患のある内科の患者さんを中心に外来や通院困難となったかかりつけ患者さんの在宅医療を行い、住み慣れた地域で暮らし続けるための医療支援を行うクリニックを目指しております。連携医療機関である広島西医療センターは、入院や精密検査が必要なときに直ちに紹介させていた



クリニック待合室

だけるため、日々安心して患者さんに向き合うことができています。地域に根差したバランスの良い病院が近接していることは、大変恵まれた環境です。医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師や栄養士、パラメディカルや職員皆さんに感謝する毎日です。

○特に取り組んでいることや今後について

かかりつけ医として患者さんが必要としている医療を精一杯提供することを医師としての使命と考えています。また、地域包括ケアシステムの構築に少しでも協力できるよう医師一人で微力ではありますが、スタッフとともにクリニックを運営していきたいと考えています。



クリニック入り口

地域医療連携機関のご紹介

医療法人社団いちご会 糸谷整形外科

【診療科目】整形外科**【医師名】**糸谷 富男・糸谷 友志**【住所】**〒739-0612 広島県大竹市油見1-9-12 TEL 0827-53-1107 FAX 0827-53-1127**【診療表】**

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	/
14:00 ~ 18:00	○	○	/	○	○	/	/

※水曜日、土曜日、午後休診。日曜日、祝日は休診。

【記載事項】

当院は、地域の皆さまが「安心して身体の悩みを相談できるクリニック」を目指し、整形外科・リハビリテーション医療の提供に取り組んでいます。

慢性的な腰痛や肩こり、スポーツによるけが、関節疾患、骨粗しょう症など、幅広い症状に対して専門的な診断と治療を行い、また地域の基幹病院と連携を取りながら患者さまの生活の質向上を大切にしています。

【診療の特徴・取り組み】**■患者さま一人ひとりに寄り添う診療**

症状の背景や日常生活の状況を丁寧に伺い、わかりやすい説明を心がけています。

患者様のニーズにお応えするため、院長含めスタッフみんなで日々反省、対策を繰り返し、より良い日常診療を心掛けています。

■リハビリテーションの充実

理学療法士・作業療法士による個別リハビリに加え、姿勢改善・筋力強化・バランス訓練など、再発予防を意識したプログラムを用意しています。

痛みを和らげるだけでなく、リハビリを通じて日常生活やスポーツ復帰までをサポートします。

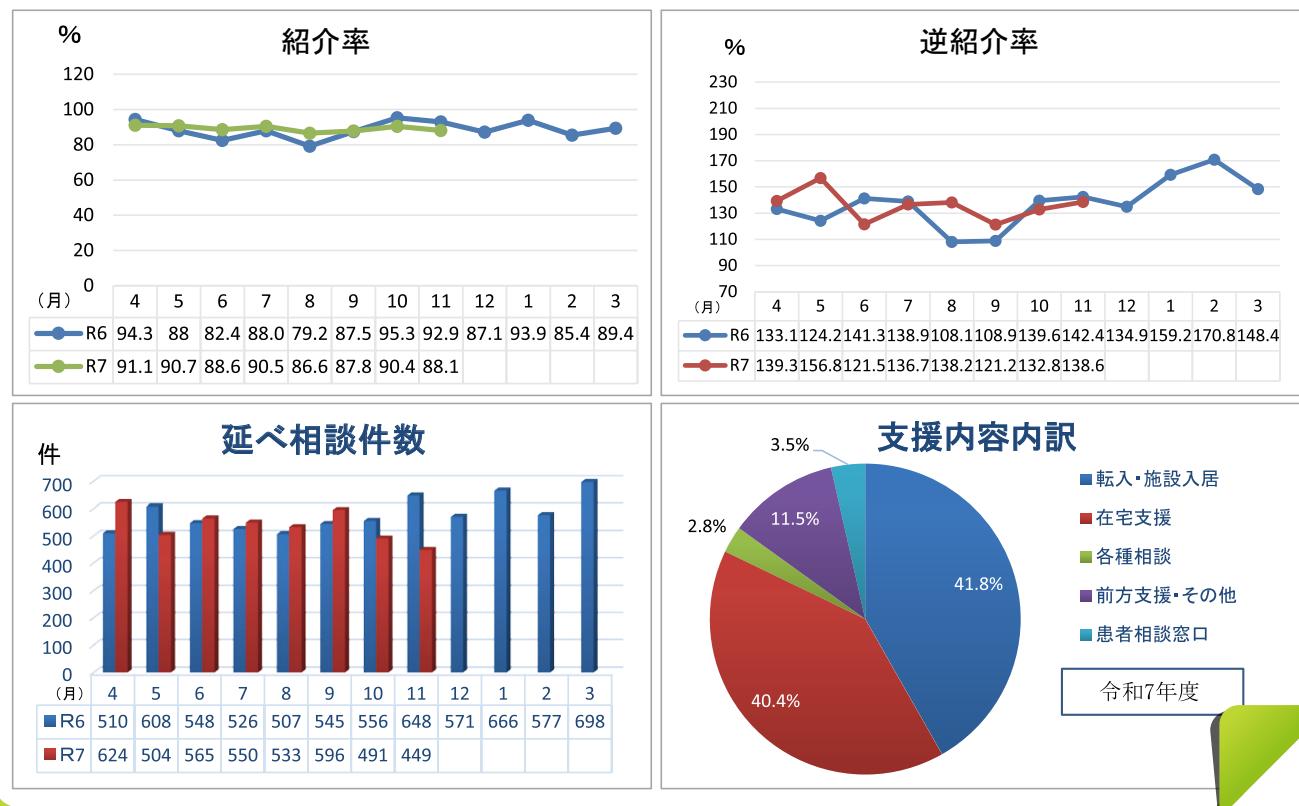
■予防医療への取り組み

痛みが生じてからの治療だけでなく、姿勢・歩行のチェック、骨密度測定、運動指導など、将来の疾患予防につながる取り組みを行っています。



地域医療連携室実績報告

※令和7年4月分より、過去データも含めて算出方法を変更しております



紹介医療機関実績報告

紹介をいただいた医療機関を一部掲載しました。

紙面の都合上すべてを掲載できませんが、紹介をいただきありがとうございました。

紹介元医療機関 上位20施設(50音順)	件数(総数)	件数(月平均)	紹介先(逆紹介)医療機関 上位20施設(50音順)	件数(総数)	件数(月平均)
医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	788	131	医療法人ハートフル アマノ病院	80	13
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	79	13	医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	716	119
駐留軍要員健康保険組合岩国基地診療所(岩国ベース)	88	15	独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	225	38
おおえ内科クリニック	216	36	岩国市医療センター医師会病院	81	14
大竹中央クリニック	84	14	岩国市立美和病院	52	9
おだ整形外科クリニック	75	13	おおえ内科クリニック	167	28
医療法人社団明和会 大野浦病院	51	9	大竹中央クリニック	93	16
医療法人 木村医院	49	8	おだ整形外科クリニック	54	9
こうろ皮ふ科	84	14	医療法人社団明和会 大野浦病院	105	18
佐川内科医院	54	9	医療法人 木村医院	55	9
JA広島総合病院	130	22	佐川内科医院	74	12
しまだファミリークリニック	126	21	JA広島総合病院	304	51
坪井クリニック	62	10	しまだファミリークリニック	115	19
ないとうクリニック	63	11	医療法人英眞会 坪井クリニック	55	9
医療法人 中村クリニック	194	32	医療法人 中村クリニック	148	25
広島大学病院	46	8	広島大学病院	162	27
村井内科クリニック	63	11	村井内科クリニック	58	10
医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	58	10	医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	114	19
山下ケアクリニック	350	58	山下ケアクリニック	244	41
医療法人社団親和会 大和橋医院	53	9	医療法人社団親和会 大和橋医院	70	12

※件数は令和7年4月～令和7年11月実績

● ● ● 外来診療担当医表 ● ● ●

広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

令和8年1月5日現在

		月	火	水	木	金	備 考	
総合診療科	1診(新患)	生田 順也	岸 楓 雄太郎	岸 楓 雄太郎	大 谷 裕一郎	大 谷 裕一郎	下記の専門領域以外の新患	
	2 診	大 谷 裕一郎	大 谷 裕一郎	生 田 順也	岸 楓 雄太郎	生 田 順也		
内 科	1診 呼吸器/血液	広 大(呼吸器)	宗 正 昌三(血液)	下 村 壮 司(血液)	広 大(呼吸器)	広 大(血液)	再診外来予約制	
	2 診 消 化 器	藤 堂 祐子/山 中 秀 彦(消化管)	清 下 裕 介(胆 脘)	山 中 秀 彦(消化管)	清 下 裕 介(胆 脘)	藤 堂 祐子(消化管)		
	3 診 内 分 泌 代 謾/糖 尿 病	/	太 田 逸 朗	太 田 逸 朗	広 大 医 師	/		
	4 診 血 液	広 大 医 師	角 野 萌	宗 正 昌 三	角 野 萌	宗 正 昌 三		
	5 診 循 環 器	藤 原 仁	栗 栖 智	藤 原 仁	栗 栖 智	藤 原 仁		
	6 診 消 化 器/血 液	下 村 壮 司(血液)	広 大(肝 臓)	/	広 大(肝 臓)	/		
	22 診 腎 臓	/	平 塩 秀 磨	/	谷 浩 樹	平 塩 秀 磨(大 成 小 百 合)		
脳神経内科	1 診	鳥 居 剛	黒 田 龍	原 直 之	牧 野 恭 子	檜 垣 雅 裕	予 約 制	
	2 診	牧 野 恭 子 (パーキンソン病)	岸 彩 夏	黒 田 龍	檜 垣 雅 裕 (頭 痛)	黒 田 龍	予 約 制 PM	
インスリンポンプ外来		太 田 逸 朗	/	/	/	太 田 逸 朗	予 約 制 PM	
禁	煙 外 来	/	担 当 医	/	/	/	14 時 ~ 16 時 予 約 制	
小 児 科	一 般 外 来		広 大 医 師 AM	/	/	/		
	専 門 外 来	小 腱 筋ジストロフィー	古 川 年 宏	古 川 年 宏	古 川 年 宏	古 川 年 宏	予 約 制	
		重 症 心 身 障 害	金 子 陽 一 郎 / 藤 井 寛	金 子 陽 一 郎 / 藤 井 寛	金 子 陽 一 郎 / 藤 井 寛	金 子 陽 一 郎 / 藤 井 寛	受付 13 時 ~ 16 時 予 防 接 種 は 13 時 ~ 14 時 (予 約 制)	
神 経 外 来		/	小 林 (第 3)	/	/	/		
補 装 具		/	/	/	/	/		
外 科	初 診	石 崎 康 代	豊 島 幸 憲	大 石 幸 一	大 石 幸 一 / 石 崎 康 代	/	金 曜 日 は 適 宜 問 い 合 せ	
	再 診	山 口 瑞 生 / 大 石 幸 一	大 石 幸 一 / 石 崎 康 代	石 崎 康 代	豊 島 幸 憲			
整 形 外 科	初 診	高 橋 大 地	田 中 碩	永 田 義 彦	/	根 木 宏	木 曜 日 手 術 日 月 曜 日 () 手 術	
	再 診	根 木 宏	永 田 義 彦	根 木 宏	/	永 田 義 彦		
	再 診	(永 田 義 彦 / 田 中 碩)	広 大 医 師	高 橋 大 地 / 田 中 碩	/	田 中 碩 / 高 橋 大 地		
形 成 外 科		/	藤 高 淳 平	/	藤 高 淳 平	藤 高 淳 平		
泌 尿 器 科	1 診	安 本 博 晃	/	安 本 博 晃	広 大 医 師	安 本 博 晃	火 曜 日 手 術 日	
	2 診	淺 野 耕 助	淺 野 耕 助	広 大 医 師	/	淺 野 耕 助	木 曜 日 手 術 日	
産 婦 人 科		古 宇 家 正	/	/	古 宇 家 正	/	予 約 制	
皮 膚 科		末 岡 愛 実	/	/	末 岡 愛 実	末 岡 愛 実	水 曜 日 手 術 日	
眼 科		広 大 医 師 AM	/	/	/	/		

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時～16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約(CT・MRI含む)は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827) 57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827) 59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827) 57-7183(内線2140) FAX (0827) 57-7701